

平成 2 7 年 第 2 回 議会定例会

一 般 質 問

1. 3 番 永瀬 洋子
2. 7 番 軍司 俊紀
3. 6 番 海老原作一

印西地区環境整備事業組合議会

**議席3番 永瀬 洋子 議員**

**【質問1】** 次期中間処理施設建設に向け、27年度に設置された2つの検討委員会はどこまで進捗しているのか。

- (1) 施設整備基本計画検討委員会
- (2) 地域振興策検討委員会

**【質問2】** 現在の温水プールや地域エネルギー有効活用は、次期施設完成後はどのようなになるのか。

**【質問3】** クリーンセンター認定のごみ減量アドバイザーの活動成果について。

**【質問4】** 印西霊園の墓地建設について、多様な形式も考えているのか。

議席7番 軍司 俊紀 議員

【質問1】 組合では「次期中間処理施設整備事業」として2つの委員会を立ち上げ、現在開催、検討を進めているが、それぞれの委員会では既に5回の開催を終えて、残り5回の実施となっているので、現在の進捗状況と今後の考え方を確認する。

(1) 「施設整備基本計画検討委員会」について

- ① ごみ量・計画施設規模の見直しは行われているのか
- ② 廃棄物焼却炉、排ガス処理施設の検討はどこまで行われているのか。

(2) 「地域振興策検討委員会」について

① 道の駅構想について

周辺住民の皆様で設立した法人が、行政側から業務を受託し経営（運営）することを基本として検討を進めるとなっているが、「道の駅」についての理解は充分に進んでいるのか。

- a 道の駅の目的・機能をどのように理解しているのか。
- b 道の駅の「仕組み」についてどのように理解しているのか。
- c 全国的に見て、管理運営は自治体や第3セクターで行うケースが4割を占めているが、どのように考えているか。

② 排熱利用の周辺利用、外部供給について資料に掲載されているがインフラ整備も含みどのようなスケジュールを今後考えているのか。

③ 集落へのインフラ整備については「生活の利便性向上」をはかるとあるが、具体的な費用見込について検討はされているのか。

④ 印西地区全体の地域資産とも言える里地里山を自然公園的に保全管理しながら積極的に活用することにより、「環境学習の拠点現場＝賑わい」を目指すことのほか、豊かな自然環境のPRを進め、「地域や農作物のブランド化＝収益」に繋げるとあり、千葉県里山情報バンク等を活用し、保全管理等を希望するNPO等の団体を募ることを基本とするが主体はどこか。

**【質問2】 印西霊園について**

ニュータウン住民から「お骨が家にある家庭も少なからずあるようだが、今後のことも考えると墓地の購入についても考えてしまう。」という意見があった。

- (1) 印西霊園の分譲については順調に進んでいるのか。
- (2) 人々の価値観も変わってきているなかで、永代供養墓や納骨堂について必要性について議論はされているのか。
- (3) 以前、住民から相談のあった樹木葬については検討されているのか。

**【質問3】 小型家電リサイクルについて**

昨年度末から実施を始めているが、実施状況はどうなっているのか。

- (1) 認定事業者との契約はどうなっているのか
- (2) 構成自治体との協議調整は、住民周知も含めどのようになっているのか。

**議席6番 海老原 作一 議員**

**【質問1】 可燃ごみ減量化について**

- (1) 印西地区環境整備事業組合（以下、組合という）としての可燃ごみの減量化についての取り組みはどのようにしているのか。
- (2) 組合構成市町との可燃ごみ減量化の取り組みの整合について。

**【質問2】 クリーンセンターの排熱利用について**

- (1) 株式会社千葉ニュータウンセンターに対する熱供給において、地域エネルギーの有効活用に関する協定を締結し、協定に基づく覚書の締結をしているが、その中で、供給蒸気の単価決定の根拠をどこに求めているのか。
- (2) 現在、クリーンセンターの排熱は、発電、温水プール、蒸気供給等に有効活用されているが、排熱全体のどの程度なのか。